

取組の目的・概要、効果・特徴

取組全体の目的・概要:
月の下アートセンターは、富岡町内で令和6年度にスタートした活動でアートを通じた新たな価値創造と文化資本の向上を目指した活動です。未就学児から高齢者まで全ての人に開かれた場の創出を通じて、富岡町民と国内外からの来訪者の交流ならびに学びの機会を生み出すことで、新たな関係性を育み、一人ひとりの心の復興に寄与していくことを目指しています。

取組の効果・特徴:
生きがいがづくりとしての効果:アート活動や世代を横断した対話の機会は、表現の自由さや自己実現を通じて、参加者が自身の価値を再確認し、生きがいを見出す重要な手段です。特に、高齢者や震災被災者にとって、心の癒しとともに日常の中で自らの存在意義を感じる場を提供することは、孤独感や無力感を軽減し、生きがいがづくりに繋がります。

費用対効果:ワークショップや創作活動は、参加者の心身の回復と地域のコミュニティ再生に対して大きな効果を生み出します。活動頻度が高く、参加者も幅広いため、長期的な視点で見ても地域全体に与える効果は非常に大きいと考えられます。さらに、子どもたちを含む多世代参加が可能なプログラムを提供することで、様々な社会的な価値を生み出すことが期待されます。

活動頻度:アートセンターオープンデーを月に2回会期中全18回を開催予定です。アートセンター内ではアートワークショップや展示会、創作活動が行われます。また月の下大学という学びの機会を5回開催し、同時に夜の森公園にて「夜の森ピクニック」を3回開催する予定です。活動の継続性と安定性を確保するため、地域との密接な連携を図りながら運営することを目指し、長期にわたり定期的に開催できる体制作りに努めます。

取組内容

月の下アートセンター
場所:時の海-東北プロジェクトオフィス

全18回開催 5月-1月の間で、月に2日間開催

- ・毎月2回、「時の海 - 東北」事務所の公開日を利用し、ワークショップやトークイベントを開催する。
- ・子どもから大人まで、幅広い世代が楽しめるプログラムを提供する。
- ・特に小学生を対象としたワークショップなどを充実させ、アートや芸術表現を通して物事を考えることの楽しさを伝える。
- ・子どもたちの創造性や感性を育むとともに、自己表現の場を提供する。

夜の森ピクニック
場所:夜の森公園

全3回開催 5月／7月／11月

- ・夜の森公園の新たな活用方法を提案し、夜の森地区全体の活性化と交流人口の増加を目指す
- ・季節の変化を感じられるよう、春夏秋冬の年3回開催する。

月の下大学
場所:時の海-東北プロジェクトオフィス

全5回開催 5月／7月／9月／11月／1月

- ・国内各所から様々な分野のゲストを招き、講演会、ワークショップ、セミナーなどを開催する。
- ・テーマは、芸術、文化、歴史、科学、環境など多岐に渡り、地域住民の知的好奇心を刺激し、新たな学びの機会を提供する。
- ・ゲストと地域住民との交流を通して、地域に新たな視点や価値観を導入する。
- ・各回のテーマを設定し、年間を通して継続的な学びの場を提供する。



次年度以降の展開

- ・月の下アートセンターの認知度向上とともに、そこから新しい活動が生まれることをサポートする。
- ・夜の森公園を活用し、地域のコミュニティ拠点としての可能性を模索する。
- ・様々な地域活動団体と連携し、アートセンターとしてアートプロジェクトの展開などに取組み交流人口の増加を目指す。
- ・町民の文化資産の形成に尽力し、時の海-東北美術館(仮称)の実現を含め、人々の知的好奇心を育むとともに文化芸術を起点とした心の復興を実現する。